

ストラディヴァリウス コンサート

吉本梨乃
ヴァイオリンリサイタル

2025 11・9 日 16:00開演
(15:15開場)

名寄市民文化センター EN-RAYホール
名寄市西13条南4丁目2番地

演奏曲目

ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ第1番 ト長調 作品78

J.S. バッハ：シャコンヌ

リスト：ラ・カンパネラ (ピアノソロ) ————— 他



©Keiji Fujita



ピアノ：金子三勇士

©Seiichi Saito

全席自由

一般 **2,000円** 当日券は200円増

※前売券が完売した場合、当日券はありません
※車いす席には限りがあります。ご了承ください
※未就学児の入場はご遠慮ください
※託児サービス
(1歳～小3まで・申込10/23日まで・先着10名)

プレイガイド

EN-RAYホールチケットセンター
ローソンチケット (Lコード：12457)

EN-RAYホールチケットセンター限定

18歳以下、70歳以上、名寄市立大学生、身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方は前売一般価格の半額(1,000円)にて購入できます。

※購入時に年齢を確認できるものや、学生証、障がい手帳をご持参ください

9月2日
発売

お問合せ

EN-RAYホールチケットセンター ☎(01654)3-3333
名寄市西13条南4丁目2番地 (休館日 8/29・9/30・10/31)

EN-RAY倶楽部会員割引対象公演 (先行入場あり)

※会員は1枚に限り、前売価格より1割引き ※購入時には会員証をご提示ください

【主催】 日本音楽財団
NIPPON MUSIC FOUNDATION



公益社団法人全国公立文化施設協会



名寄市・名寄市教育委員会

【協力】 名寄市公民館・なよろ舞台芸術劇場実行委員会

【助成】 日本財団

プロフィール

吉本 梨乃 よしもと・りの

ヴァイオリン 日本音楽財団保有 ストラディヴァリウス 1736年製ヴァイオリン「ムンツ」使用



©Keiji Fujita

2003年神戸生まれ。3歳でヴァイオリンを始め、国内のコンクールで優勝・入賞。14歳からウィーン国立音楽大学のギフトコース、大学入学準備クラスでミヒャエル・フリッセンシュラガー教授に師事。17歳からエリザベート王妃音楽院でオーギュスタン・デュメイ氏に師事。

第16回パドバ国際音楽コンクール（イタリア）弦楽器部門と、ヴィルトゥオーゾ部門、ソリストオーケストラ部門で優勝、全部門グランプリを受賞。優勝者ツアーとして、ロシア、イタリアで演奏し大成功をおさめたほか、AADGT25周年記念コンサートに招待されカーネギーホールで演奏。

2022年、第3回アイザックスターン国際ヴァイオリンコンクールでファイナリスト、第10回フリッツ・クライスラー国際ヴァイオリンコンクールで第2位を受賞。

2021年、ウィーンコンツェルトハウスでウィーン室内管弦楽団と共演、2022年、ウィーン室内合奏団とソリストとしてスペインツアーを行い、大好評を得る。以降もウィーン楽友協会ウィーン放送交響楽団と、ブルガリアのヴァルナ音楽フェスティバルでブルガリア国立放送交響楽団と、さらにベルギーのフラスカティオーケストラ、中国の上海交響楽団、日本フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団と共演を重ねている。

音楽の友2020年「ヴァイオリンの新星たち」の特集で紹介された。

2020、2021年度ローム音楽財団奨学生。

金子 三勇士 かねこ・みゆじ ピアノ



©Seiichi Saito

1989年、日本人の父とハンガリー人の母のもとに生まれる。6歳より単身ハンガリーに留学。祖父母の家よりバルトク音楽小学校に通い、ハンガリーのピアノ教育第一人者チェ・ナジュ・タマーシュネーに師事。11歳より飛び級でハンガリー国立リスト音楽院大学（特別才能育成コース）に入学、エックハルト・ガーボル、ケヴェハージ・ジュンジ、ワグナー・リタの各氏に師事。16歳で全課程取得とともに日本に帰国。東京音楽大学付属高等学校に編入、清水和音、迫昭嘉、三浦捷子の各氏に師事。同大学を首席で卒業、同大学院修了。

2008年バルトク国際ピアノコンクール優勝の他、数々の国際コンクールで優勝。

2009年CHANEL Pygmalion Days参加アーティスト。

第12回ホテルオークラ音楽賞、第22回出光音楽賞など、受賞多数。

2024年4月に発足した「日本＝ハンガリー未来プロジェクト」のエグゼクティブプロデューサーに就任、国家間の文化交流に精力的に取り組んでいる。

キシュマロシュ名誉市民。スタインウェイ・アーティスト。

ストラディヴァリウス1736年製ヴァイオリン『ムンツ』

日本音楽財団が保有し、若手有望演奏家や世界で活躍する演奏家に無償で貸与されるストラディヴァリウス製ヴァイオリンは15挺あり、そのうちの1つが『ムンツ』。

楽器の内部に貼られたラベルには、ストラディヴァリ本人の手書きで「d'anni 92（92歳）」と書かれている珍しい楽器である。透明な黄褐色のニスに楽器のほぼ全体に綺麗に残っており、楽器の保存状態も音色も格段に優れている。1874年以降、英国パーミングムの有名な収集家でアマチュア・ヴァイオリン奏者のH.M.ムンツが所有していたため、「ムンツ」と呼ばれている。1737年に死去したストラディヴァリが、最晩年に製作した楽器の1つとして知られている。

偶然にも『ムンツ』は2012年に吉本梨乃の前の使用者である有希・マヌエラ・ヤンケとともに名寄市を訪れたことがあり、13年ぶりに名寄市にてその音色を響かせることとなる。

